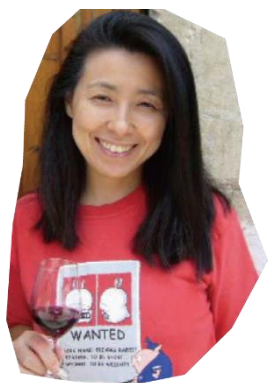


Beaujolais Nouveau Vinifié Par Junko 2018 report No.2

2017年9月11日



2017年のボジョレーは春先に霜の被害、6月に雹と大変な年でした。2018年はお陰様でそういう問題がなく、天候にも恵まれ、結果質も収量も良い年となりました。

私のヌーボーは9月8日(土)に収穫開始、普通収穫者は基本的には土日は働きませんが、葡萄の糖度の関係でお願いしました。毎年お手伝い下さるポーランドの方々は、土日でも嫌な顔ひとつ見せず明るく引き受けて下さいました。

まずは赤のヌーボー、Le Pont du Diable のガメイから収穫が始まりました。

今年は記念すべき10年目、私にはけじめのビンテージです。そういう年にこれだけ良い天候に恵まれたのは神様の贈り物のような気がします。

この「悪魔の橋」という名前の畑は急斜面の坂になっており、収穫がとても大変です。しかしその為、綺麗な酸味が残るのです。春と収穫後の秋の2回に羊を200匹も放して雑草を食べて貰います。無農薬の畑は雑草が大変ですが、葡萄がない季節だけ羊さん達にお手伝いをして貰えます。そうやって大切に管理してきました。10年この同じ畑で作っていると、葡萄達は10歳古くなり、味わいは年々深くなります。

が、収量はどうしても減ってしまいます。今年は色々な思いで収穫をさせて貰いました。

その葡萄は今、40lhの大きな開放桶で寝ております。



↑

← ガメイの収穫風景



翌日 9 日(日)はシャルドネの収穫です。

去年は2つの畑を収穫しました。今年はラッキーな事に同じ Beaujolais un Quancie 村のシモンという無農薬生産者の畑のシャルドネの葡萄を、新しく買う事が出来たのです。ガメイが



ほとんどのボジョレーで質の良いシャルドネを見つけるはとても大変です。お陰様でそのシャルドネ白ヌーボーは去年より注文が増え、同時にシモンと正式に契約し、来年も買う事が出来ます。本当に有難いです。シモンはまだ若い生産者、一昨年迄、南仏の無農薬生産者の所で2年修業し2017年に実家に戻りました。お父様はワイン生産者ですが、慣行農業です。去年からシモンが戻り、お父様の畑を全部無農薬に切り替えました。まだ3年経過していないので正式な認証はありませんが、素晴らしい管理の畑です。シモン自身、南仏で赤のナチュラルワインをしっかりと勉強して来ましたので、彼のワイナリーのガメイを100%ナチュラルワインに切り替えました。でも白までは手が回らないので、シャル

ドネだけは我々に売ってくれることになったのです。その葡萄の素晴らしい事。まだ樹齢の若い Joubert さんのシャルドネより、葡萄そのものの味は濃いのです。今年はその葡萄が加わった分、味わいが向上しました。

朝は涼しいので、シャルドネの収穫は午前中だけです。去年と同じなら、午前中で終わりますが、今年はシモンの畑のシャルドネも買うので、午前中では間に合いません。ですので、彼の収穫者にも助けて貰い、我々は 30 人で Joubert さんの畑、そしてシモン達は 15 名で彼の畑とグループを分け、大人数で一気に収穫。そしてそれを一気にプレスしました。



温度の低い状態で良い収穫が出来、本当に今年は満足です。今年の白を飲めばそれは直ぐにわかります。



赤は畑が沢山あるので、足りなくなる事は稀です。しかし白の収量は畑が限られているのと、絞ってからでないと生産量が確定できないので、毎年実は白に関してはハラハラなのです。しかしお陰様で予定のジュースが絞りあがり、それを今、大きな木のフードルで発酵してあります。

今年も予定通り、ペチヤンにしますので、10日～2週間後に瓶詰めしますが、発酵速度によって予定が変わります。しかしジュースはもう絞れて試飲しておりますので2017年よりステップアップした味わいになります。が、ガス圧はもう少し抑える予定です。去年はちょっと勢いが良かったので、今年は去年より弱いガスにしますね。

9月9日(日)午後と10日(月)午前はロゼのガメイの収穫です。

赤のヌーボーは坂の畑で複雑な味わいの葡萄ですが、このロゼは平らな畑で、葡萄の実も大きいので味わいはジュシーで果実香が強いです。

また Le pont du Diable に比べジュースが沢山取れます。味わいは優しくタンニンも少ないのでロゼに向きます。ここの土壌の関係で、赤より遅い収穫でも酸味が残るのです。ですので、丁度ペチヤンに向いているガメイなのです。ポーランド人の収穫者は収穫に慣れているので、このロゼの収穫もあっという間に終わり、直ぐにプレスです。そして足りない分だけ、翌日プロの収穫者でなく、我々スタッフだけの小さな収穫をしました。



↑ロゼ ガメイ 収穫風景



←収穫者皆さん

↓ジョベール氏と収穫者皆さん



ポーランドの収穫者達は若者ばかりで平均年齢が30歳くらいですが、我々スタッフだけの叔父さんのグループは、皆引退したマルセルのお友達なので、ぐっと平均年齢が上がります（笑）

その追加分の畑は醸造所の前にあり 2016 年に植えた赤ちゃんの畑。去年はほとんど実がなりませんが、今年はそれなりに実がなったので、頼もしいです。葡萄の成長の早さに驚かされますね。

今年もお陰様で何とか無事に収穫が終わりました。今の段階では去年より質が良いと思われます。しかしワイン造りはこれから出す。第一弾は OK ですが、この後注意深く見守っていかないとはいけません。まだまだ緊張が続きます。

↓ポーランドから収穫に参加した皆さん

